

# 静岡市文化財及び歴史的まちなみ保存活用プロジェクト

～静岡市の文化財が活用され「市民の財産」として未来に継承されるまちの実現を目指します～

関連するSDGsのゴール



## 1. 事業概要について

静岡市には、指定されているだけでも300件を超える文化財があります。こうした財産は、適切に修理する、活用することで、市民の財産として、将来に継承することができます。本プロジェクトでは、市民の皆様や企業の皆様と連携して、静岡市の文化財が活用され、「市民の財産」として未来に継承されるまちの実現を目指します。

項目	具体的な取組の一例
寄贈・遺贈を受けた建造物の保存活用	まちなみを形成する文化財建造物等を活用できる形に整備します。
地域シンボルの整備	旧五十嵐歯科医院など歴史的まちなみを形成する建造物を整備します。
民間所有文化財の修理	地域で大切に守られてきた文化財の修理を支援します。
民俗文化財の継承	無形民俗文化財の継承に必要な費用を支援します。
史跡や名勝の維持管理	史跡駿河国分寺跡、名勝三保松原のような史跡・名勝の維持管理に活用します。
天然記念物の維持管理	大クスのような、市内天然記念物の剪定などの維持管理に活用します。
静岡市ゆかりの歴史資料の収集・保存活用	散逸や滅失の可能性がある静岡市ゆかりの歴史資料を収集し、将来に継承していきます。

## 2. セールスポイントと独自性

本市には、**建造物・美術工芸品・民俗文化財・記念物（史跡・名勝・天然記念物）**など、多種多様な文化財が存在し、私たちの日々の生活に豊かさをもたらしてくれています。これらの文化財を活かした事業を実施することで、地域経済の活性化され、幅広い分野への効果が期待できます。

## 3. 現状と課題

### 【現状】

本市では、これまで文化財の修理や整備を推進してきましたが、計画的な修理や整備の手が及んでいないものがあります。

また、静岡市内外に点在している静岡市ゆかりの資料が放置され、散逸・滅失のおそれがあります。

### 【課題】

文化財の置かれている現状をみると、少子高齢化などの社会情勢の変化による保存継承の担い手不足等により、維持管理が困難な状況です。

また、有形文化財のみならず地域の祭礼や伝統行事のような無形の民俗文化財の休止なども同様に、行政や所有者だけで保存、継承することは困難です。

文化財を将来にわたって継承するとともに、効果的な活用を図るために市だけの力では実現できない状況です。



史跡小島陣屋跡整備工事

静岡市指定有形文化財「小島藩御殿・書院」を国指定史跡「小島陣屋跡」に移築しました。



### 寄贈・遺贈を受けた建造物の保存活用

まちなみを形成する文化財建造物等を活用できる形に整備します。



### 地域シンボルの整備



旧五十嵐歯科医院など歴史的まちなみを形成する建造物を整備します。

### 民間所有指定等文化財の修理



地域で大切に守られてきた指定等文化財の修理を支援します。

### 民俗文化財の継承



まちなみを形成する文化財建造物等を活用できる形に整備します。

### 指定史跡や名勝の維持管理



史跡駿河国分寺跡、名勝三保松原などの史跡・名勝の維持管理に活用します。

### 指定天然記念物の維持管理



大クスのような、市内天然記念物の剪定などの維持管理に活用します。

### 静岡市ゆかりの歴史資料の収集・保存活用



地域で大切に守られてきた指定等文化財の修理を支援します。

## 4. 寄附を募る理由

これから先の未来、文化財を地域総がかりで保存し活用し続けることができるまちとなるためには、本市と市民、企業とが連携し、文化財の力で、さまざまな地域・社会課題解決へ取り組む必要があります。そして共に活動することで、はじめて文化財が「市民の財産」として未来に継承されるまちが実現されます。

### メッセージ

文化財は、「市民の財産」であり、「地域文化のよりどころ」です。この文化財を皆で上手に活用することが「地域活性化」につながります。

ぜひ、ご支援とご協力をお願いします。



旧マッケンジー住宅再生活用事業